

肥育期間が従来より約6か月間も短縮！

牛枝肉の調査会が開催されました

令和9年8月に北海道で開催される第13回全国和牛能力共進会（以下、全共）に向けて、9月9日に仙台市で供試牛37頭の枝肉調査が行われました。

全共は、全国から和牛が一同に会し、生体や肉の良さを競う品評会で、時代が求める和牛像に合っているかが評価のポイントとなります。特に、牛肉では「脂肪がサラサラした油のような質を持つか」等が重要です。



供試牛の生体写真



供試牛の枝肉写真

また、県の出荷は平均で生後30か月齢ですが、全共に出品できるのは生後24か月齢未満の牛です。6か月間の飼養を短くしながら牛を肥育することは大変難しく、挑戦する農業者の飼養管理技術が光ります。

2年後の本番で上位入賞し、県のトップブランド「仙台牛」を全国に披露すべく、県全体で16農場、うち管内から4農場が切磋琢磨しています。

【地方振興事務所 農業振興部】

ストーンバードを制作しました！

愛鳥モデル推進校の取組

野鳥や自然を大切にする心を育てるために、県では愛鳥モデル推進校を設定しており、推進校では様々な活動が行われています。令和6年度から指定された川崎町立富岡小学校では、今年度の活動として6月3日に碓石川の河原で鳥を探す「探鳥会」を、6月12日に小石を鳥の形に見立てて絵を描く「ストーンバード」の制作を行いました。



ストーンバードの制作



可愛いストーンバードが出来ました

ストーンバードの制作では、探鳥会の際に子ども達が自分で拾った小石を素材とし、生徒14人が思い思いの鳥を描き、可愛い作品ができました。子ども達からは「難しかったけど楽しかった。もっと作りたい。」などの感想があり、子ども達が楽しみながら取り組める活動となりました。12月には野鳥観察のための餌台作りも予定しています。

【地方振興事務所 林業振興部】